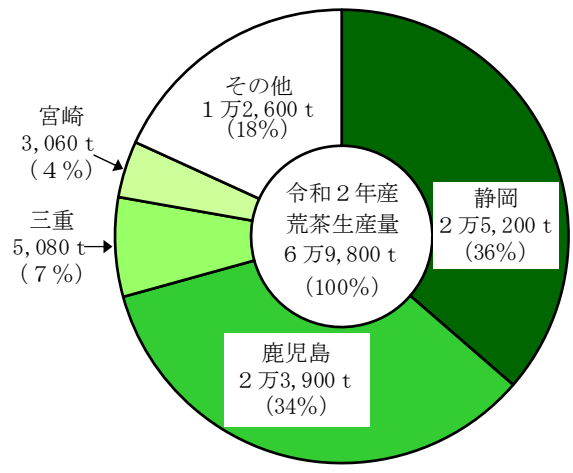


作物統計調査 令和2年産茶の摘採面積、生葉収穫量 及び荒茶生産量 — 全国の荒茶生産量は、前年産に比べ15%減少 —

【調査結果】

- 摘採実面積**
全国の茶の摘採実面積^(注1)は3万4,300haであった。
なお、摘採延べ面積は7万7,800haであった。
- 生葉収穫量**
全国の茶の生葉収穫量は32万8,800tであった。
- 荒茶生産量**
全国の荒茶^(注2)生産量は6万9,800tで、前年産に比べ1万1,900t(15%)減少した。

図 令和2年産茶の都道府県別荒茶生産量及び割合



注： 数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表 令和2年産茶の摘採実面積、10a当たり生葉収量、生葉収穫量及び荒茶生産量

区分	摘採実面積	10a当たり生葉収量	生葉収穫量	荒茶生産量	前年産との比較							
					摘採実面積		10a当たり生葉収量		生葉収穫量		荒茶生産量	
					対差	対比	対比	対比	対差	対比	対差	対比
	ha	kg	t	t	ha	%	%	t	%	t	%	
全国	34,300	959	328,800	69,800	nc	nc	nc	nc	nc	△ 11,900	85	

注：1 「摘採実面積」とは、茶を栽培している面積のうち、収穫を目的として茶葉の摘取りが行われた実面積をいい、同一茶園で複数回摘採された場合の延べ面積ではない。
2 「荒茶」とは、茶葉(生葉)を蒸熱、揉み操作、乾燥等の加工処理を行い製造したもので、仕上げ茶として再製する以前のものをいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y16 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ・ 茶に関する生産振興に資する各種事業（強い農業・担い手づくり総合支援交付金等）の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

栽培面積及び荒茶生産量の推移（全国）

区 分	栽培面積 ha	荒茶生産量 t
平成23年産	46,200	…
24	45,900	…
25	45,400	(84,800)
26	44,800	83,600
27	44,000	(79,500)
28	43,100	(80,200)
29	42,400	(82,000)
30	41,500	(86,300)
令和元	40,600	(81,700)
2（概数）	39,100	69,800

資料：農林水産省統計部「作物統計」

注：荒茶生産量の（ ）内の数値は、主産県の調査結果から推計した参考値である。

また、平成23年産及び平成24年産は原子力災害対策特別措置法に基づき、主産県以外の都道府県においても出荷制限が行われたことから推計を行わなかった。

◎ 関連データ

普通せん茶の平均価格の推移

単位：円/kg

区 分	普通せん茶				
	一番茶	二番茶	三番茶	秋冬番茶	
平成27年産	1,302	1,994	671	405	290
28	1,419	2,129	764	568	329
29	1,476	2,255	868	679	364
30	1,271	1,910	781	445	367
令和元年産	1,178	1,872	624	362	327

資料：全国茶生産団体連合会「茶生産流通実態調査事業」

【統計表】

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「0」： 単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）
「-」： 事実のないもの
「x」： 個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
「nc」： 計算不能
- 3 秘匿措置について
統計調査結果について、生産者数が2以下の場合には、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。
なお、全体（計）からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。
- 4 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和2年産茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量」（農林水産省）による旨を記載してください。

令和2年産茶の摘採面積、10a当たり生葉収量、生葉収穫量及び荒茶生産量

全国農業地域 都道府県	実数								
	年間計					一番茶			
	摘採実面積	摘採延べ面積	10a当たり生葉収量	生葉収穫量	荒茶生産量	摘採面積	10a当たり生葉収量	生葉収穫量	荒茶生産量
	ha	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
全 国 (1) (全国農業地域)	34,300	77,800	959	328,800	69,800	34,200	405	138,600	27,500
北海道 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
都 府 県 (3)	34,300	77,800	959	328,800	69,800	34,200	405	138,600	27,500
東 北 (4)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
北 陸 (5)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
関 東 ・ 東 山 (6)	1,050	1,650	551	5,790	1,270	1,050	330	3,460	x
東 海 (7)	17,100	35,600	833	142,400	31,500	17,100	356	60,800	12,200
近 畿 (8)	2,370	4,220	861	20,400	4,450	2,370	477	11,300	2,450
中 国 (9)	165	327	745	1,230	268	159	324	515	102
四 国 (10)	x	x	x	1,680	x	x	x	1,120	x
九 州 (11)	13,100	35,300	1,200	157,200	31,900	13,100	468	61,300	11,700
沖 縄 (12)	15	26	740	111	24	15	240	36	8
(都道府県)									
北 海 道 (13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青 森 (14)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
岩 手 (15)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
宮 城 (16)	2	2	300	6	1	2	300	6	1
秋 田 (17)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
山 形 (18)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
福 島 (19)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
茨 城 (20)	156	329	718	1,120	260	154	340	523	109
栃 木 (21)	6	7	333	20	5	6	250	15	3
群 馬 (22)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
埼 玉 (23)	610	919	570	3,480	754	610	343	2,090	440
千 葉 (24)	22	26	350	77	18	22	300	66	15
東 京 (25)	43	64	467	201	41	43	337	145	30
神 奈 川 (26)	131	215	508	666	146	131	321	421	90
新 潟 (27)	13	20	231	30	8	11	182	20	5
富 山 (28)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
石 川 (29)	4	4	112	4	1	4	84	3	1
福 井 (30)	1	1	216	2	0	1	216	2	0
山 梨 (31)	51	59	304	155	31	51	257	131	27
長 野 (32)	24	24	254	61	13	24	254	61	13
岐 阜 (33)	457	793	473	2,160	470	457	293	1,340	269
静 岡 (34)	13,700	29,000	822	112,600	25,200	13,700	339	46,500	9,420
愛 知 (35)	425	675	854	3,630	744	425	548	2,330	454
三 重 (36)	2,520	5,220	952	24,000	5,080	2,520	421	10,600	2,090
滋 賀 (37)	339	746	814	2,760	549	330	330	1,090	218
京 都 (38)	1,390	2,270	806	11,200	2,360	1,390	433	6,020	1,250
大 阪 (39)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵 庫 (40)	41	65	451	185	42	41	246	101	21
奈 良 (41)	585	1,120	1,060	6,190	1,490	585	699	4,090	950
和 歌 山 (42)	16	20	269	43	8	16	225	36	7
鳥 取 (43)	8	22	1,080	86	20	8	350	28	6
島 根 (44)	69	132	743	513	115	64	342	219	40
岡 山 (45)	40	61	570	228	51	39	277	108	25
広 島 (46)	7	13	686	48	10	7	343	24	5
山 口 (47)	41	99	859	352	72	41	332	136	26
徳 島 (48)	188	196	309	580	118	171	271	464	90
香 川 (49)	x	x	x	x	x	x	x	x	x
愛 媛 (50)	75	77	268	201	44	70	250	175	38
高 知 (51)	188	305	401	753	168	185	220	407	85
福 岡 (52)	1,480	2,640	561	8,300	1,600	1,480	308	4,560	865
佐 賀 (53)	635	1,190	809	5,140	1,140	635	394	2,500	533
長 崎 (54)	510	830	547	2,790	578	510	317	1,620	322
熊 本 (55)	950	1,550	568	5,400	1,120	950	309	2,940	594
大 分 (56)	438	655	591	2,590	549	438	313	1,370	286
宮 崎 (57)	1,080	3,270	1,350	14,600	3,060	1,080	504	5,440	1,090
鹿 児 島 (58)	7,970	25,100	1,490	118,400	23,900	7,970	538	42,900	8,010
沖 縄 (59)	15	26	740	111	24	15	240	36	8

前年産対比									
年間計					一番茶				
摘採実面積	摘採延べ面積	10a当たり生葉収量	生葉収穫量	荒茶生産量	摘採面積	10a当たり生葉収量	生葉収穫量	荒茶生産量	
%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
nc	nc	nc	nc	85	nc	nc	nc	nc	(1)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(2)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(3)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(4)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(5)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(6)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(7)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(8)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(9)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(10)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(11)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(12)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(13)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(14)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(15)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(16)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(17)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(18)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(19)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(20)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(21)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(22)
97	93	89	87	86	97	103	100	98	(23)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(24)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(25)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(26)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(27)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(28)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(29)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(30)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(31)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(32)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(33)
95	94	92	87	85	95	93	89	86	(34)
92	92	98	90	89	92	99	91	90	(35)
96	95	87	84	86	96	88	85	84	(36)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(37)
99	85	86	85	81	99	96	95	95	(38)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(39)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(40)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(41)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(42)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(43)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(44)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(45)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(46)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(47)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(48)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(49)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(50)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(51)
99	96	90	89	90	99	88	87	90	(52)
94	89	99	93	92	94	99	93	93	(53)
91	88	89	81	83	91	93	85	86	(54)
97	93	90	88	88	97	102	99	99	(55)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(56)
93	92	94	88	87	93	94	87	87	(57)
100	89	87	86	85	100	98	98	97	(58)
nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	nc	(59)

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の収穫量調査として実施したものであり、茶の生産に関する実態を明らかにすることにより、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料、茶に関する生産振興に資する各種事業（強い農業・担い手づくり総合支援交付金等）の推進等のための基礎資料、農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料を整備すること等を目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

令和2年産については、全国を対象に調査を行った。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており、全国調査以外の年にあつては、直近の全国調査年における面積調査結果に基づき、全国の茶栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、強い農業・担い手づくり総合支援交付金による茶に係る事業を実施する都道府県及び畑作物共済事業を実施し半相殺方式を採用している都道府県を調査対象（主産県）としている。

(2) 調査対象者（標本荒茶工場）の選定

ア 荒茶工場母集団の整備・補正

「荒茶工場母集団一覧表」を6年周期で作成し、これを基に中間年については、市町村、普及センター、茶関係団体等関係機関からの情報収集により、荒茶工場の休業・廃止又は新設があつた場合には削除又は追加をし、また、茶栽培面積、生葉の移出入等大きな変化があつた場合には当該荒茶工場について母集団一覧表を整備・補正した。

イ 階層分け

母集団一覧表の荒茶工場別の年間計荒茶生産量を指標とし、都道府県別の荒茶工場を一定生産量以上を有する全数調査階層と標本調査階層に区分した。

なお、標本調査階層にあつては、最大で3程度の階層に区分した。

ウ 標本数の算出

都道府県別の標本数は、全数調査階層の荒茶工場数と標本階層内の標本荒茶工場数を足したものとし、標本調査階層については、荒茶生産量を指標とした目標精度（5%）が確保できるように必要な標本荒茶工場数を算出した。

エ 標本調査階層内の標本配分及び抽出

都道府県別に算出された標本数を階層別に配分し、系統抽出法により抽出した。

(3) 調査対象者数

母集団 荒茶工場数 ①	調査対象者数 ②	抽出率 ③=②/①	有効 回収数 ④	有効 回収率 ⑤=④/②
工場 4,402	工場 1,277	% 29.0	工場 1,065	% 83.4

注：「有効回収数」とは、集計に用いた標本荒茶工場の数であり、回収はされたが、当年産において取扱いがなかった荒茶工場は含まない。

3 調査事項

摘採実面積、摘採延べ面積、生葉集荷（処理）量及び荒茶生産量

4 調査期日

収穫期（令和2年12月1日現在）

5 調査方法

標本荒茶工場に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。

6 集計方法

摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量については、次の方法により集計した。

(1) 都道府県値

ア 全数調査階層の集計値に標本調査階層の推定値を加えて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

なお、全数調査階層に欠測値がある場合は、標本調査階層と同様の推定方法により算出した。

イ 階層ごとの推定方法については、荒茶生産量（母集団リスト値）と荒茶生産量（調査結果）の相関係数、荒茶生産量（母集団リスト値）の変動係数及び荒茶生産量（調査結果）の変動係数について以下の式を満たす場合には比推定、それ以外の場合は単純推定により算出している。

$$\hat{r}_i \geq \frac{1}{2} \cdot \frac{C_{iy}}{\hat{C}_{ix}}$$

上記の計算式に用いた記号等は次のとおり。

\hat{r}_i : i 階層の荒茶生産量（母集団リスト値）と荒茶生産量（調査結果）との相関係数の推定値

C_{iy} : i 階層の荒茶生産量（母集団リスト値）の変動係数

\hat{C}_{ix} : i 階層の荒茶生産量（調査結果）の変動係数の推定値

ウ 標本調査階層の各階層において、荒茶生産量は以下の推定式を用いて算出した。
 i 階層の推定（年間計及び一番茶期別に推定）

なお、摘採実面積、摘採延べ面積（年間計のみ）及び生葉収穫量についても荒茶生産量と同様の推定方法により算出した（下記推定式の「 x 」及び「 X 」部分を摘採実面積、摘採延べ面積及び生葉収穫量（調査結果）に置き換えて算出。）。

【単純推定の場合】

$$\hat{X}_i = N_i \frac{\sum_{j=1}^{n_i} x_{ij}}{n_i}$$

【比推定の場合】

$$\hat{X}_i = \frac{\sum_{j=1}^{n_i} x_{ij}}{\sum_{j=1}^{n_i} y_{ij}} Y_i$$

上記の計算式に用いた記号等は次のとおり。

N_i : i 階層の母集団荒茶工場数

n_i : i 階層の標本数

\hat{X}_i : i 階層の荒茶生産量の推定値

x_{ij} : i 階層の j 標本の荒茶生産量（調査結果）

Y_i : i 階層の母集団荒茶工場の荒茶生産量（母集団リスト値）の合計値

y_{ij} : i 階層の j 標本の荒茶生産量（母集団リスト値）

(2) 全国値

全国の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量は、都道府県値の積み上げにより算出した。

7 調査の精度

本調査の荒茶生産量を指標とした実績精度を標準誤差率（標準誤差率の推定値÷推定値×100）により示すと 3.6%である。

8 全国農業地域の表章区分

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東海	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
近畿	岐阜、静岡、愛知、三重
中国	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
九州	徳島、香川、愛媛、高知
沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

9 用語の解説

- (1) 「摘採実面積」とは、茶を栽培している面積のうち、収穫を目的として茶葉の摘取りが行われた面積をいい、同一茶園で複数回摘採された場合の延べ面積ではない。
- (2) 「10 a 当たり生葉収量」とは、生葉収穫量を摘採実面積で除して求めた、10 a 当たりの生葉収穫量をいう。
- (3) 「荒茶」とは、茶葉（生葉）を蒸熟^{じょうねつ}、揉み^も操作、乾燥等の加工処理を行い製造したもので、仕上げ茶として再製する以前のものをいう。
- (4) 全国の標準的な一番茶の茶期区分は、3月10日～5月31日である。

10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和3年6月予定）するとともに、その後刊行する『令和2年産作物統計』に掲載する。なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「工芸農作物」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y16 】

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織別から探す>大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

お茶に関する情報関係ページ：農林水産省>組織別から探す>政策統括官>甘味資源作物、
いも類、蚕糸、茶等の地域特産物 > お茶のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/cha/ocha.html>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3682

（直通）03-3502-5687

F A X : 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037

F A X : 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>